Japan Lifeline

2017年3月期
決算説明会

2017年５月31日

日本ライフライン株式会社

本日の内容

1．2017年3月期 決算概要

2．2018年3月期 業績予想

3．販売状況と今後の見通し

4．中期計画ローリング

Japan Lifeline

1．2017年3月期 決算概要

2．2018年3月期 業績予想

取締役管理本部長

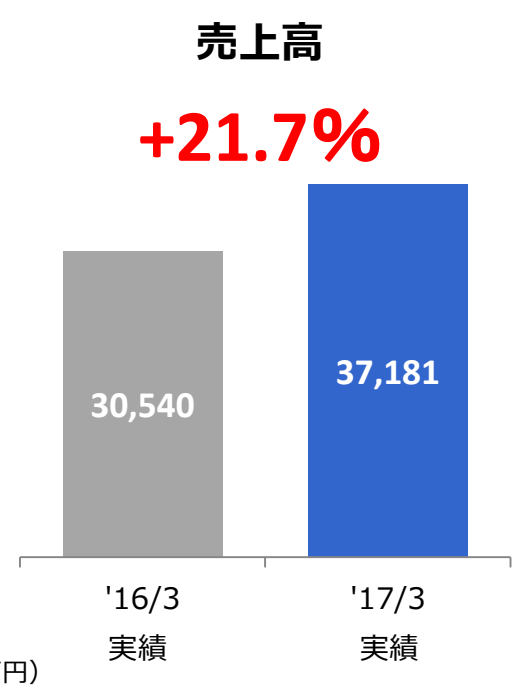
山田　健二

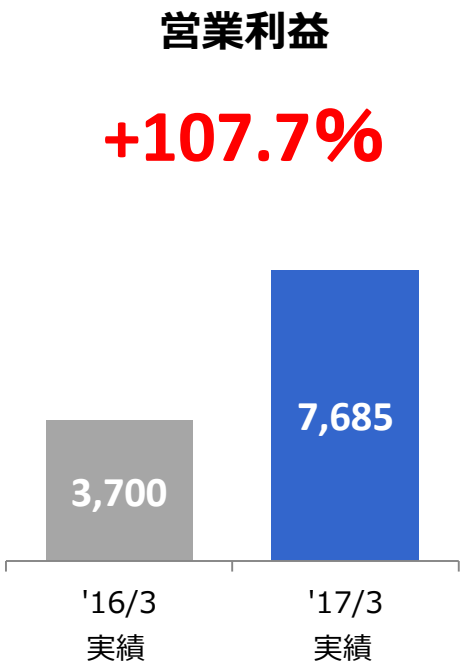
2017年3月期 連結業績ハイライト

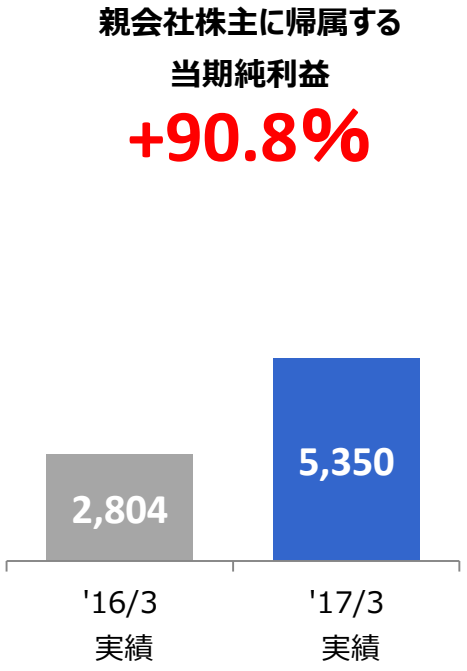
・全品目区分において売上が好調に推移

・自社製品・仕入商品ともに売上総利益率が改善

・販管費の計画下振れもあり大幅増益







（百万円）

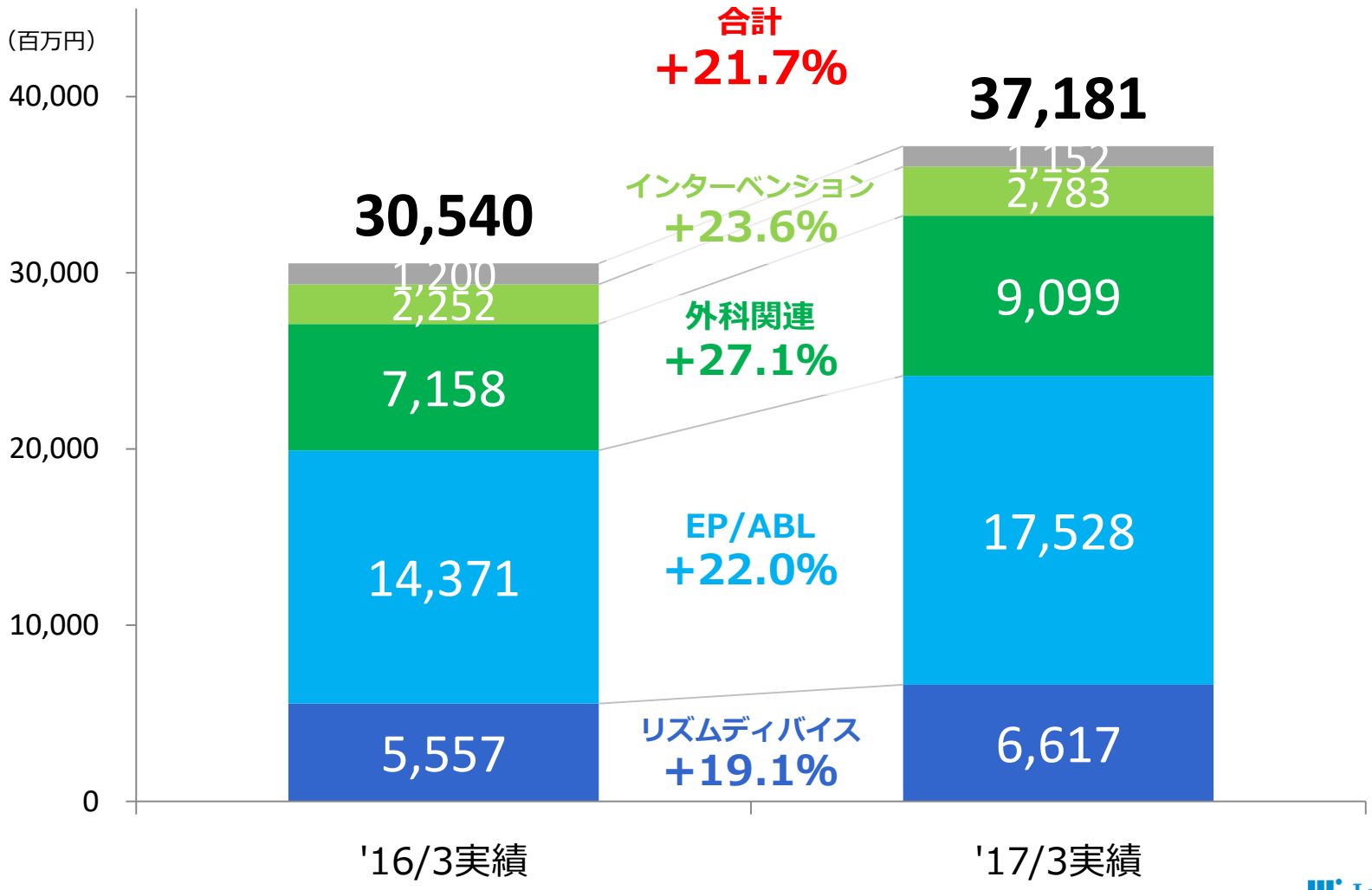
Japan Lifeline

2017年3月期 連結業績

売上高は計画未達も、営業利益は計画上振れ・前期比大幅増益

（百万円）	2016/3期 実績	2017/3期 計画 （'16/7/29発表）	2017/3期 実績	前期比	計画比
売　上　高	30,540	37,991	37,181	+21.7%	△2.1%
売上総利益	17,250	22,191	21,998	+27.5%	△0.9%
売上総利益率	56.5%	58.4%	59.2%	+2.7pt	+0.8pt
営　業　利　益	3,700	6,866	7,685	+107.7%	+11.9%
営業利益率	12.1%	18.1%	20.7%	+8.6pt	+2.6pt
親会社株主に帰属する当期純利益	2,804	4,604	5,350	+90.8%	+16.2%
当期純利益率	9.2%	12.1%	14.4%	+5.2pt	+2.3pt

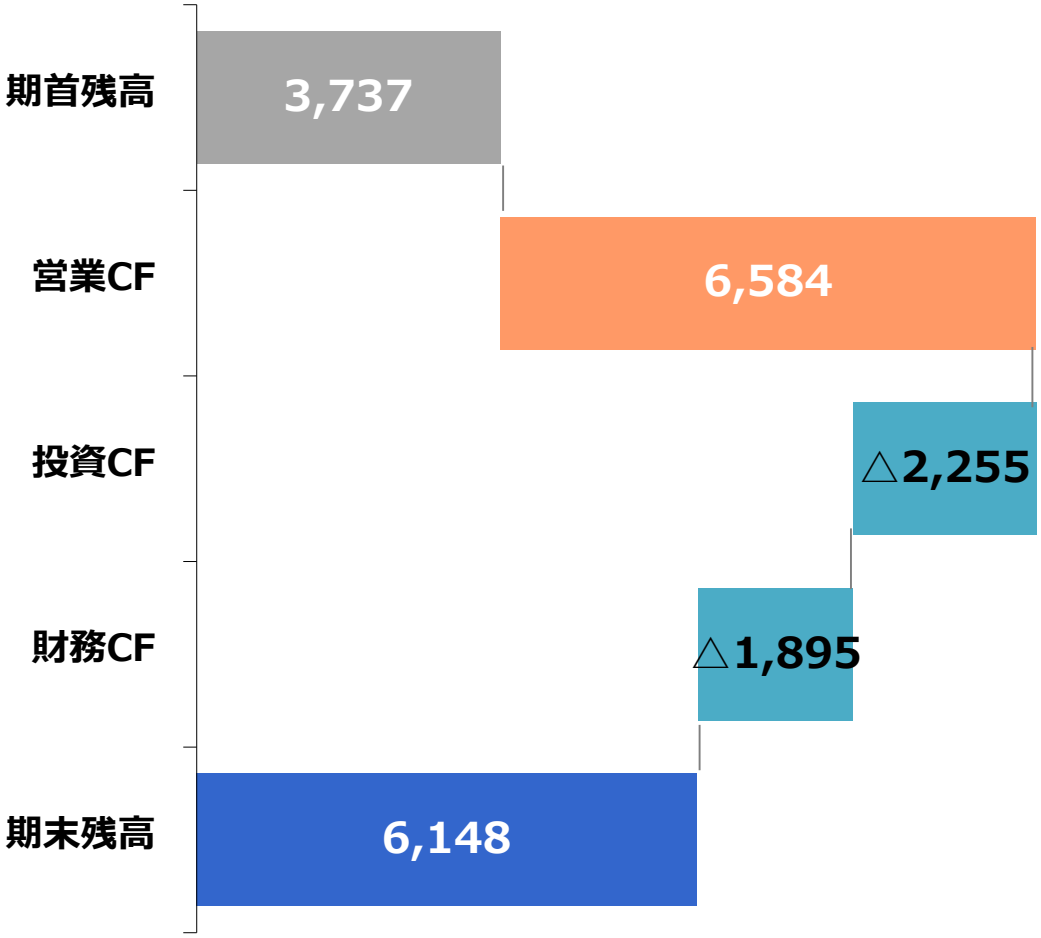
2017年3月期 品目別売上高　対前期



Japan Lifeline

キャッシュ・フローの状況

対前期末　+2,410百万円



（百万円）

【増加】・税金等調整前当期純利益　+7,957
・減価償却費　+753
・未払消費税等の増加　+298
【減少】・売上債権の増加　△970
・法人税等支払額　△2,467

【増加】・長期貸付金の回収による収入　+693
【減少】・長期貸付による支出　△1,390
・有形固定資産の取得による支出　△882

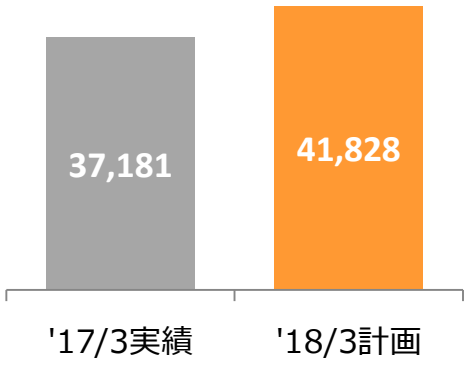
【増加】・長期借入れによる収入　+1,100
【減少】・長期借入金の返済による支出　△2,053
・配当金の支払額　△464

2018年3月期 連結業績予想ハイライト

- 公定価改定がなく、売上数量増が売上高増にダイレクトに反映
- 高収益品の伸び等により、売上総利益率が改善
- 販管費増を吸収し、営業利益は増益

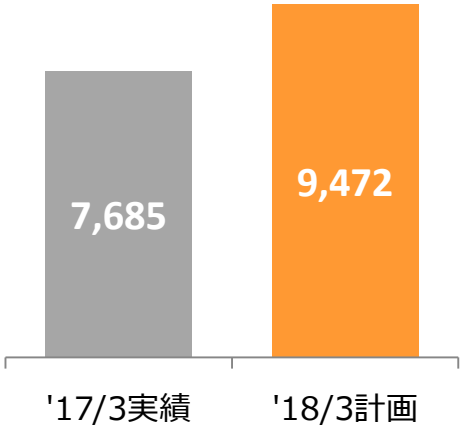
売上高

+12.5%



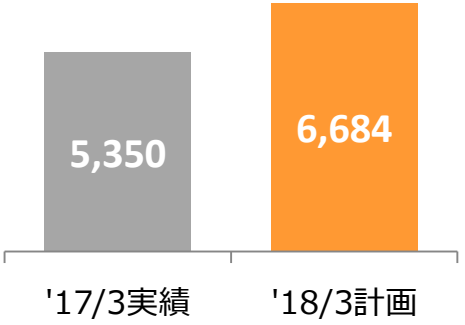
営業利益

+23.3%



親会社株主に帰属する当期純利益

+24.9%



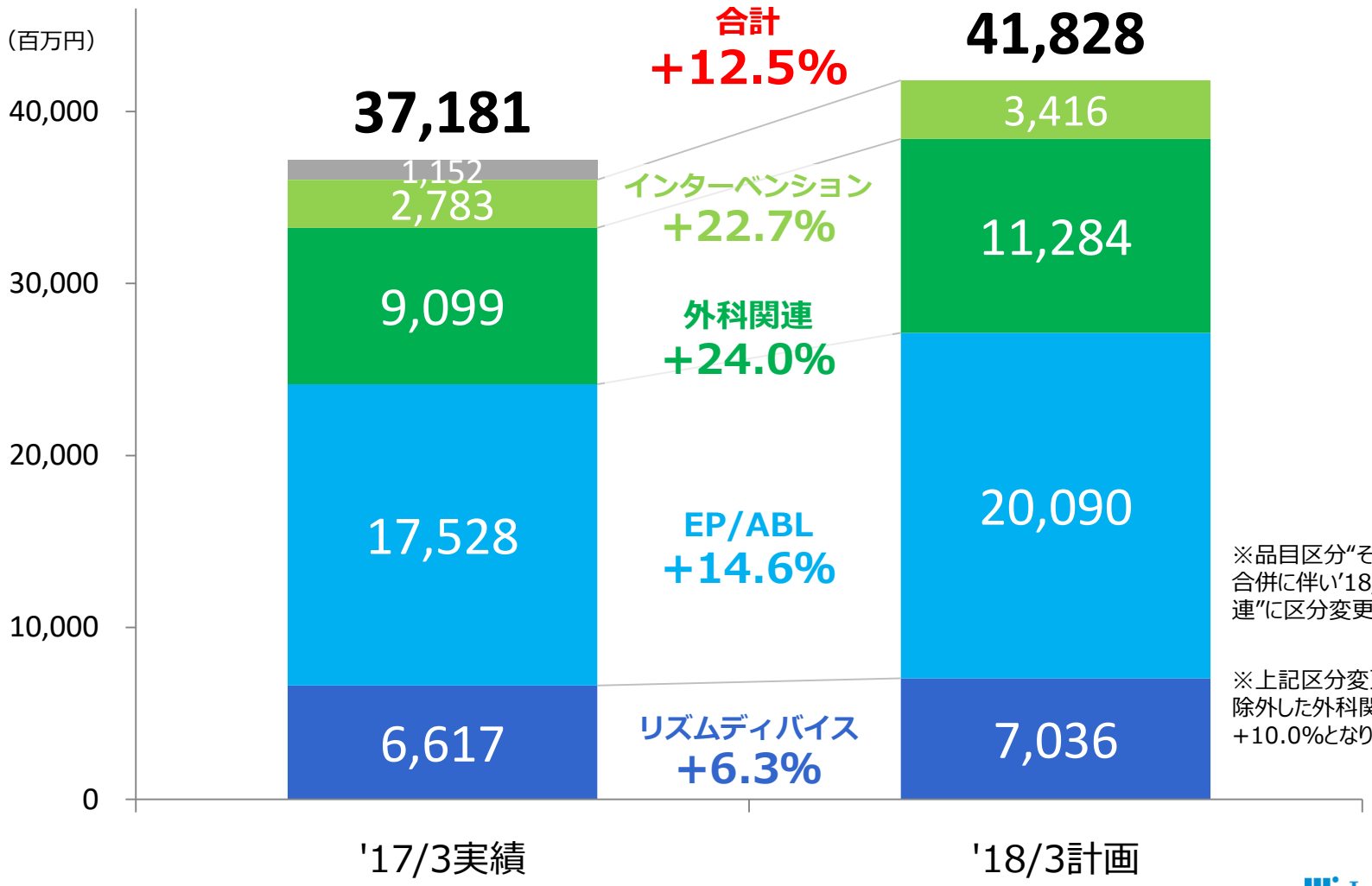
（百万円）

2018年3月期 連結業績予想

増収・売上総利益率の改善により、高水準の営業利益率を見込む

（百万円）	2016/3期 実績	2017/3期 実績	2018/3期 計画	前期比
売上高	30,540	37,181	41,828	+12.5%
売上総利益	17,250	21,998	25,835	+17.4%
売上総利益率	56.5%	59.2%	61.8%	+2.6pt
営業利益	3,700	7,685	9,472	+23.3%
営業利益率	12.1%	20.7%	22.6%	+1.9pt
親会社株主に帰属する当期純利益	2,804	5,350	6,684	+24.9%
当期純利益率	9.2%	14.4%	16.0%	+1.6pt

2018年3月期計画 品目別売上高



※品目区分“その他”は子会社合併に伴い'18/3期より”外科関連”に区分変更しております。

※上記区分変更による影響を除外した外科関連の対前期は+10.0%となります。

Japan Lifeline

設備投資/減価償却費/研究開発費/従業員数

・2017年4月にリサーチセンター新棟の建設に着工

（百万円）		2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期（計画）
設備投資額		1,901	331	1,752	905	3,748
減価償却費		576	770	717	753	1,354
研究開発費		636	794	933	1,051	1,239
期末従業員数	連結	734	759	795	829	917
（名）	単体	549	570	610	661	834

（資料）　連結売上高　品目別

（百万円）	2016/3期 実績		2017/3期 実績			2018/3期 計画			備考
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	
ペースメーカ関連	4,804	15.7%	5,674	15.3%	18.1%	6,017	14.4%	6.1%	
ICD関連	624	2.0%	724	1.9%	16.0%	742	1.8%	2.5%	
その他	127	0.4%	218	0.6%	71.4%	276	0.7%	26.4%	AED含む
リズムディバイス計	5,557	18.2%	6,617	17.8%	19.1%	7,036	16.8%	6.3%	
EPカテーテル	10,451	34.2%	13,160	35.4%	25.9%	15,089	36.1%	14.7%	自社製品　心腔内除細動ｶﾃｰﾃﾙ含む
ABLカテーテル	1,335	4.4%	1,258	3.4%	△5.7%	1,227	2.9%	△2.5%	自社製品含む
その他	2,584	8.5%	3,109	8.4%	20.3%	3,773	9.0%	21.3%	高周波心房中隔穿刺針含む 自社製品含む
EP/ABL計	14,371	47.1%	17,528	47.1%	22.0%	20,090	48.0%	14.6%	
人工弁関連	1,347	4.4%	1,755	4.7%	30.3%	1,979	4.7%	12.8%	
人工肺関連	150	0.5%	113	0.3%	△24.5%	76	0.2%	△33.0%	
人工血管関連	5,659	18.5%	7,229	19.4%	27.7%	7,955	19.0%	10.1%	自社製品（JM社製品）含む* ｽﾃﾝﾄｸﾞﾗﾌﾄ含む
血液浄化関連	-	-	-	-	-	1,272	3.0%	-	‘16/3-‘17/3は”その他”に区分
外科関連計	7,158	23.4%	9,099	24.5%	27.1%	11,284	27.0%	24.0%	
バルーン	893	2.9%	814	2.2%	△8.9%	1,087	2.6%	33.6%	自社製品含む
ガイドワイヤー	436	1.4%	373	1.0%	△14.5%	415	1.0%	11.3%	自社製品
その他	921	3.0%	1,596	4.3%	73.2%	1,913	4.6%	19.9%	貫通用カテーテル、心房中隔欠損閉鎖器具含む、子会社販売商品含む
インターベンション計	2,252	7.4%	2,783	7.5%	23.6%	3,416	8.2%	22.7%	
その他	1,200	3.9%	1,152	3.1%	△4.0%	-	-	-	～‘17/3 JM社が販売する血液浄化関連（‘17/4に合併）
合計	30,540	100.0%	37,181	100.0%	21.7%	41,828	100.0%	12.5%	

（資料）　連結損益計算書

（百万円）	2016/3期 実績		2017/3期 実績			2018/3期 計画		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	30,540	100.0%	37,181	100.0%	21.7%	41,828	100.0%	12.5%
売上原価	13,289	43.5%	15,182	40.8%	14.2%	15,993	38.2%	5.3%
売上総利益	17,250	56.5%	21,998	59.2%	27.5%	25,835	61.8%	17.4%
販管費	13,550	44.4%	14,313	38.5%	5.6%	16,362	39.1%	14.3%
営業利益	3,700	12.1%	7,685	20.7%	107.7%	9,472	22.6%	23.3%
営業外収益	240	0.8%	405	1.1%	68.7%	194	0.5%	△52.0%
営業外費用	365	1.2%	79	0.2%	△78.2%	62	0.1%	△21.7%
経常利益	3,574	11.7%	8,010	21.5%	124.1%	9,604	23.0%	19.9%
特別利益	1,104	3.6%	1	0.0%	△99.9%	53	0.1%	3660.4%
特別損失	163	0.5%	54	0.1%	△66.8%	73	0.2%	35.2%
税引前利益	4,514	14.8%	7,957	21.4%	76.3%	9,584	22.9%	20.4%
税金費用	1,710	5.6%	2,607	7.0%	52.4%	2,899	6.9%	11.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,804	9.2%	5,350	14.4%	90.8%	6,684	16.0%	24.9%

３．販売状況と今後の見通し

代表取締役社長

鈴木　啓介

リズムディバイス　’17/3 実績

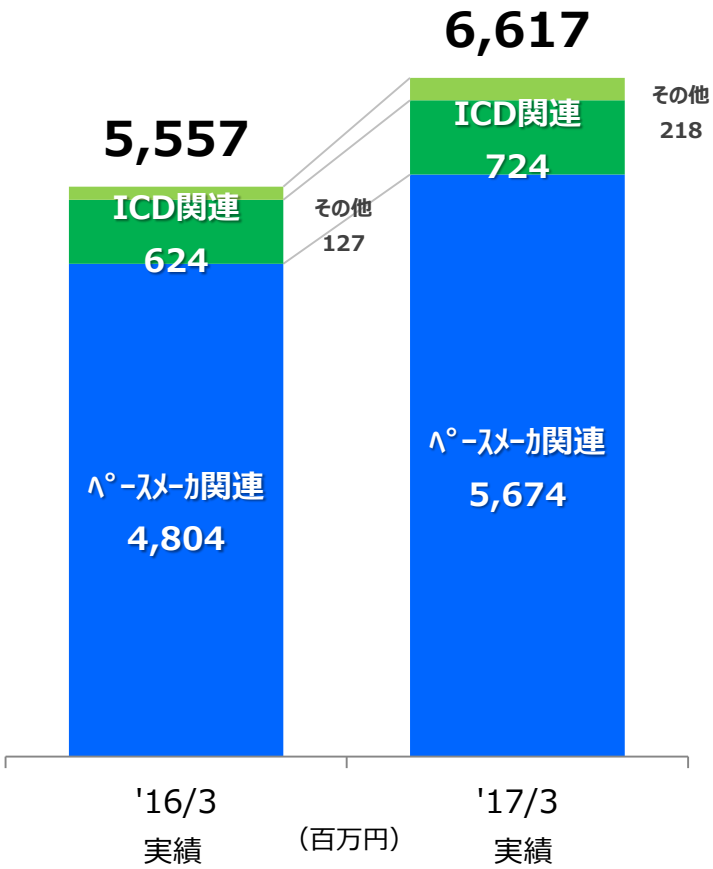
全身MRI対応ペースメーカが寄与　　**前期比 +19.1%**

- **ペースメーカ関連**
  - 全身MRI対応の「KORA250」導入により、回復が進む



「KORA250」

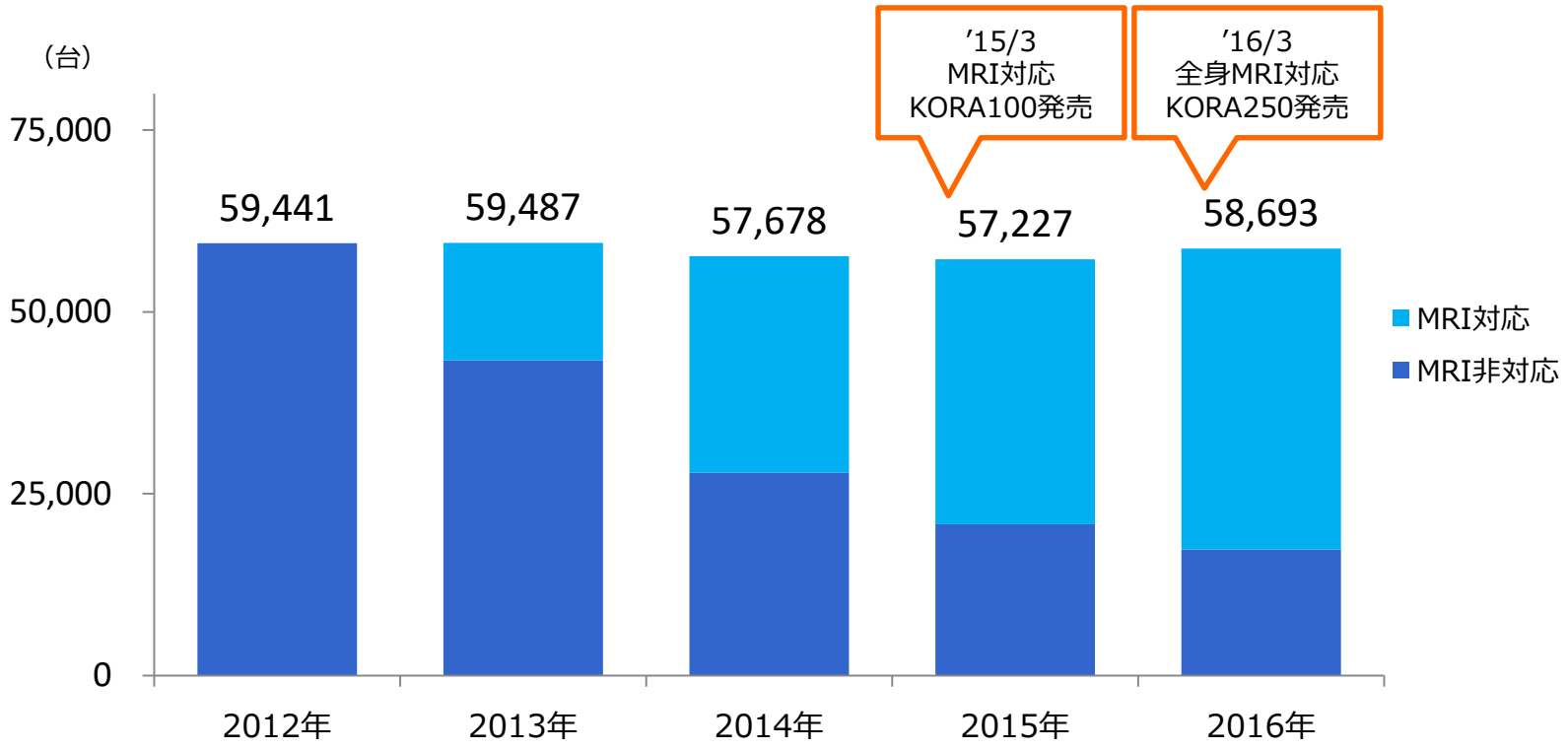
- **ICD関連**
  - 昨年導入した小型、長寿命のICD「PLATINIUM」の販売数量が増加



リズムディバイス　’18/3 見通し

- **PM市場は一定規模で推移**
- **’18/3期はシェア15%を目指す**

ペースメーカ市場　販売数量推移



※一般社団法人　日本不整脈デバイス工業会 統計値に基づき作成

※シングル・デュアルチャンバの販売数量。2012年は全てMRI非対応として表示

Japan Lifeline

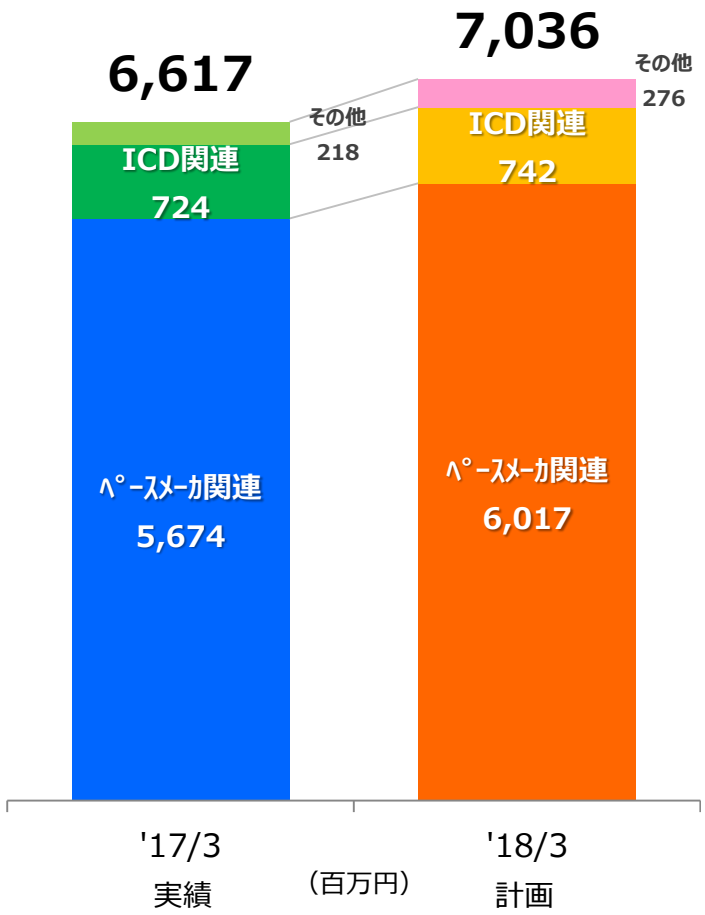
リズムディバイス　’18/3 見通し

MRI対応PMの安定的な増加を見込む　　**前期比 +6.3%**

- **ペースメーカ関連**
  - 「KORA250」の一層の増加を見込む
- **ICD関連**
  - 「PLATINIUM」シリーズのCRT-Dの拡販に努める



「PLATINIUM　CRT-D」



EP/アブレーション　’17/3 実績

心房細動治療の関連製品が伸長　　**前期比 +22.0%**

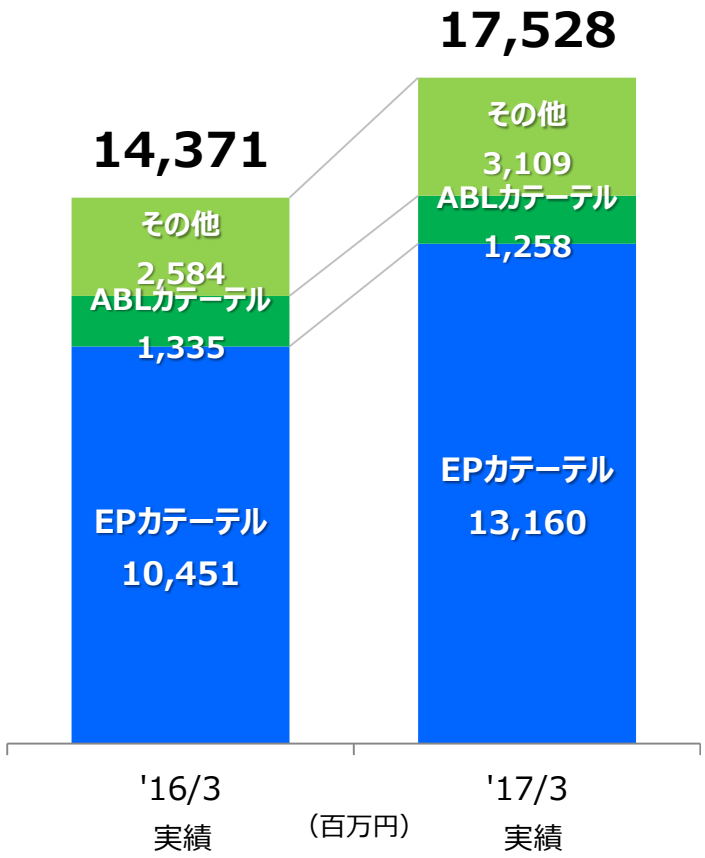
- **EPカテーテル**
  - 心腔内除細動カテーテル「BeeAT」、食道温モニタリングシステム「Esophastar」が伸長



「Shock AT」



「BeeAT」



- **その他**
  - 高周波心房中隔穿刺針「RFニードル」が増加

Japan Lifeline

EP/アブレーション　’17/3 実績

心房細動治療を幅広い製品でサポート

自社製品			仕入商品
日本ライフライン社製			BAYLIS MEDICAL社製
心腔内除細動システム 専用カテーテル「BeeAT」	食道温モニタリングシステム 専用カテーテル 「Esophastar」	スティーラブルシース 「Guidee」	高周波心房中隔穿刺針 「RFニードル」
			
2012/10発売	2015/4発売	2017/1発売	2013/5発売
ONLY ONE			ONLY ONE

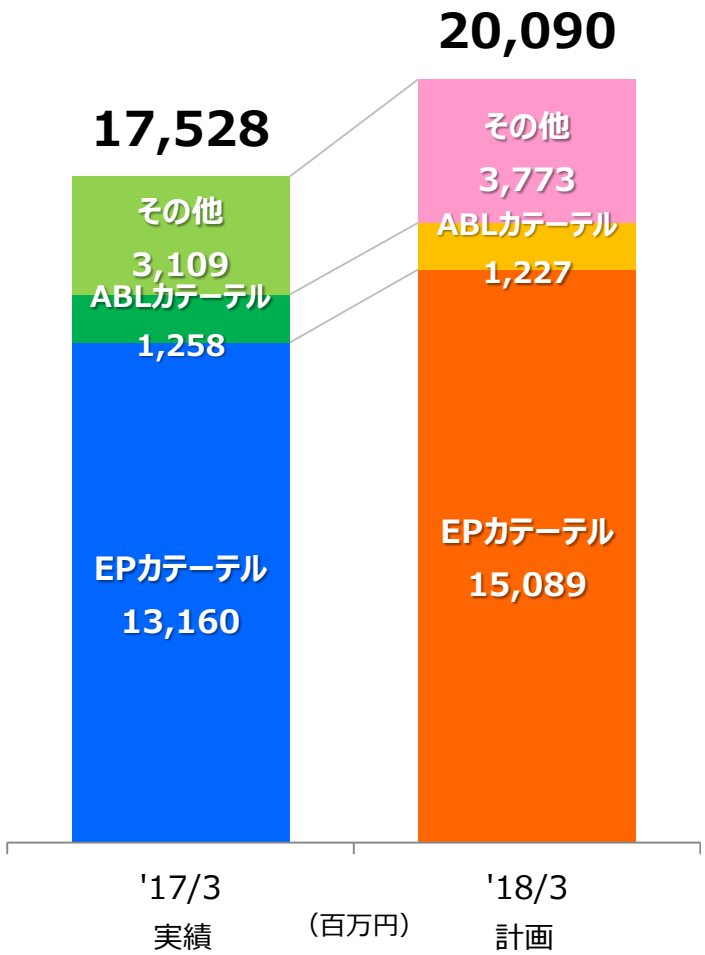
EP/アブレーション　’18/3 見通し

引き続き市場拡大による成長を見込む　　**前期比　+14.6%**

- **心房細動関連製品が牽引**
  - 心腔内除細動カテーテル「BeeAT」
  - 高周波心房中隔穿刺針「RFニードル」
  - 食道温モニタリングシステム「Esophastar」
  - 内視鏡アブレーションシステム「HeartLight」　4Q上市予定



「RFニードル」



Japan Lifeline

EP/アブレーション ’18/3 新商品 HeartLight①

バルーンアブレーション分野に参入

- 「HeartLight」
- Cardio Focus社（米）製品
- 4Q上市予定（新保険償還区分を想定）



内視鏡アブレーションシステム

「HeartLight」

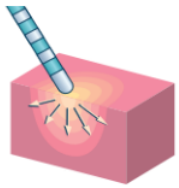
EP/アブレーション ’18/3 新商品 HeartLight②

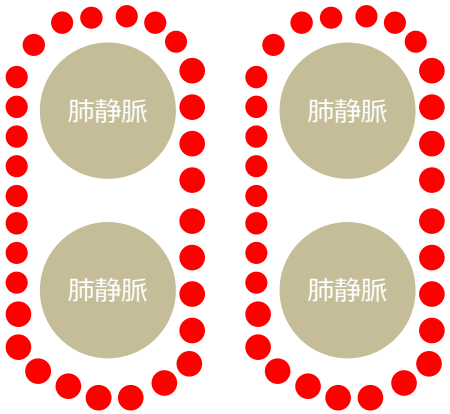
レーザーバルーンによる正確かつ効率的な治療

- 正確に短時間で肺静脈隔離*が可能
- 柔軟なバルーンが肺静脈の多様な形状に対応

アブレーションカテーテル（従来）

（RFアブレーション）

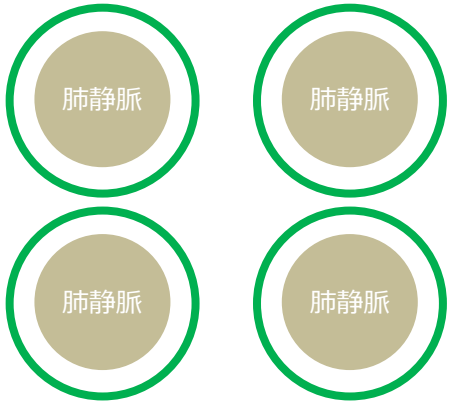




RF：点状に複数個所を繰り返し焼灼

HeartLight

（バルーンアブレーション）



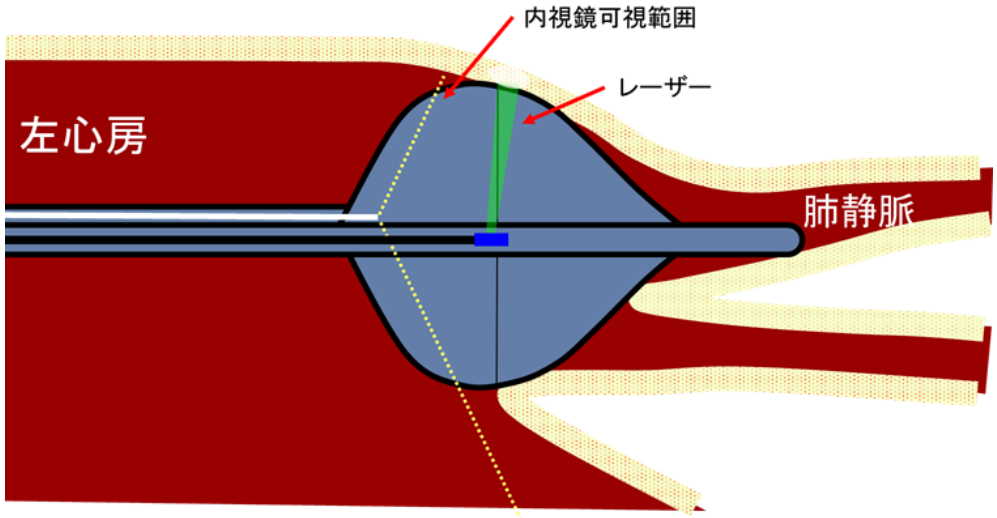
バルーン：レーザーで線状に焼灼

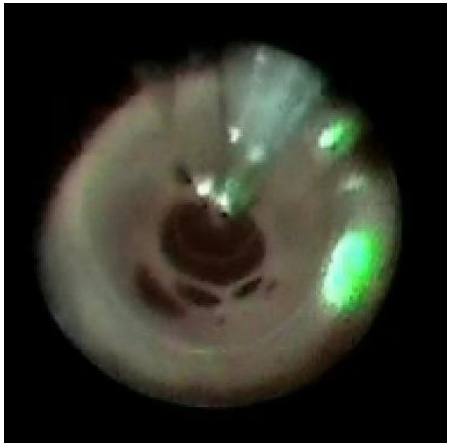
【肺静脈隔離とは】
心房細動のアブレーション治療の主要な治療方法。心房細動の原因となる異常興奮は、左心房につながる4本の肺静脈から発生することが多く、肺静脈の周りを円周上に焼灼し、肺静脈からの興奮が心房に伝わらないように隔離する治療方法です。

EP/アブレーション ’18/3 新商品 HeartLight③

内視鏡画像で心腔内の直視が可能

- 最適な部位にレーザーを照射（3Dマッピングは不要）
- 合併症（肺静脈狭窄）の低減が期待できる



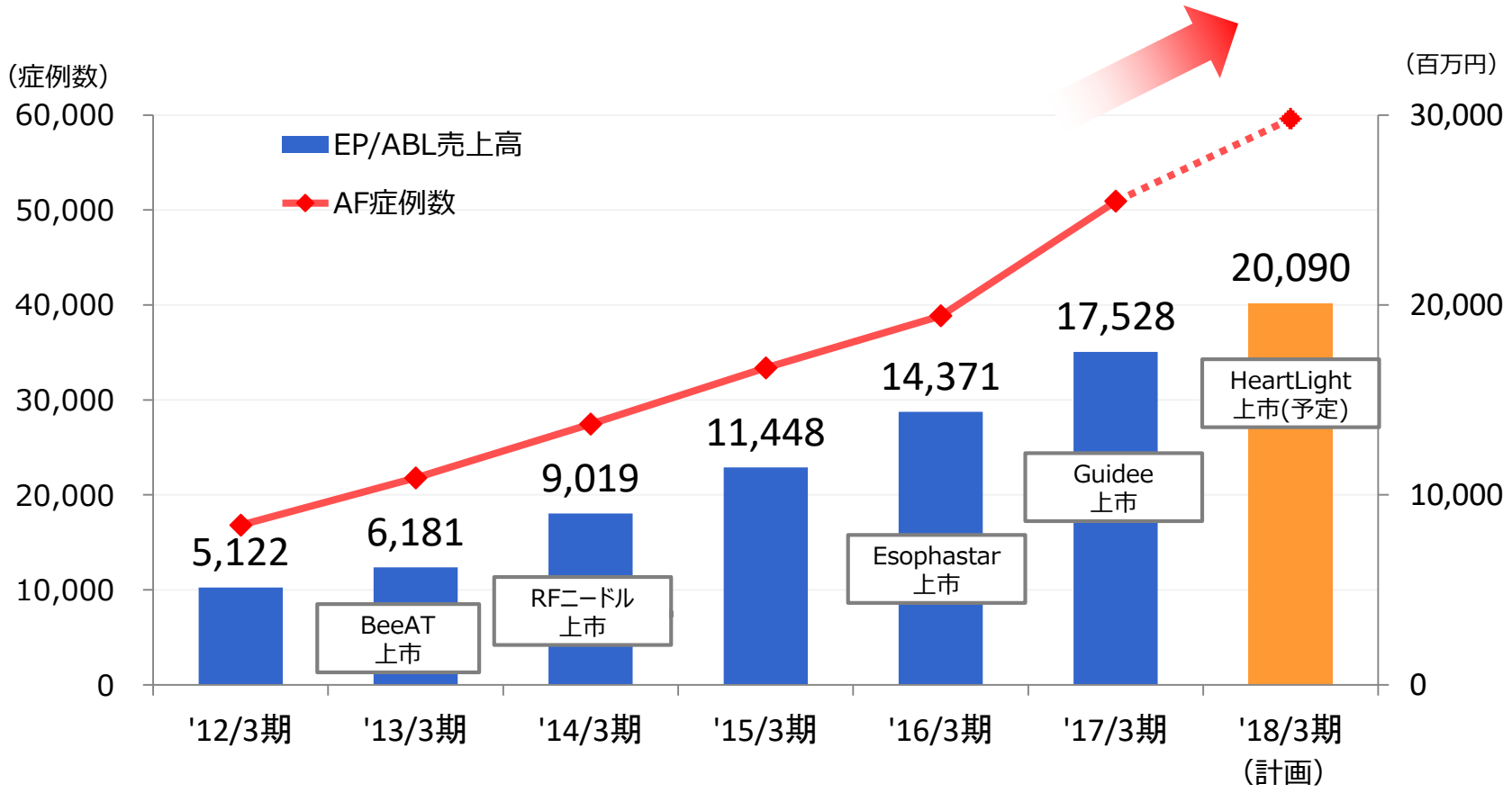


内視鏡画像

治療分野も強化、さらに成長力を高める

EP/アブレーション　’18/3 見通し

- 心房細動(AF)のアブレーション治療の増加が続く
- ’18/3期 AF症例数は17%増を想定



※症例数は自社推計、暦年ベース

Japan Lifeline

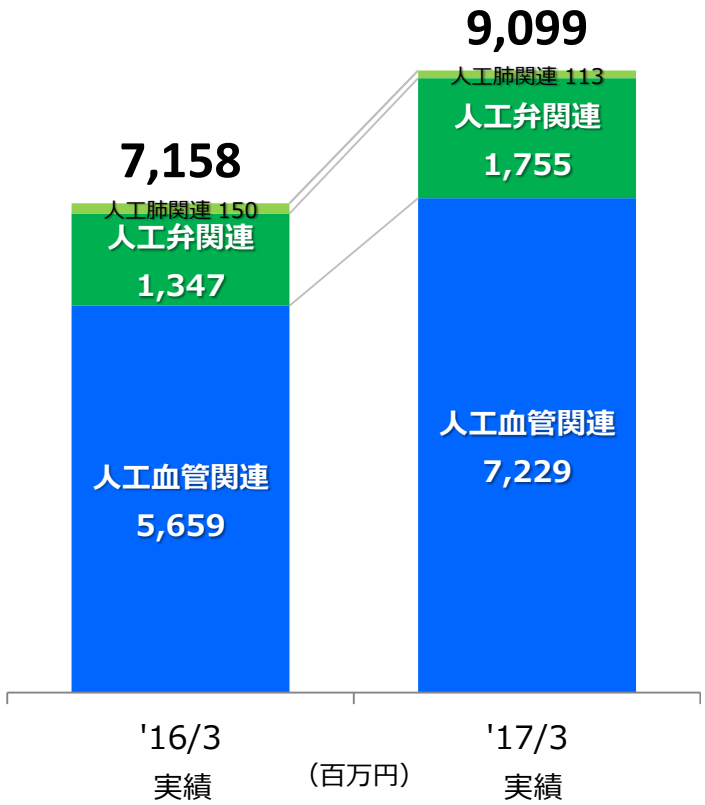
外科関連　’17/3 実績

腹部用ステントグラフトが寄与　　**前期比 +27.1%**

- **人工血管関連が好調に推移**
  - 腹部用ステントグラフト
    「AFXステントグラフトシステム」
  - オンリーワン製品
    「J-Graft FROZENIX」も好調
- **生体弁は新商品が増加**
  - 耐久性を高めた生体弁
    「CROWN PRT」



「CROWN PRT」



Japan Lifeline

外科関連　’17/3 実績

大動脈治療における豊富なラインナップ

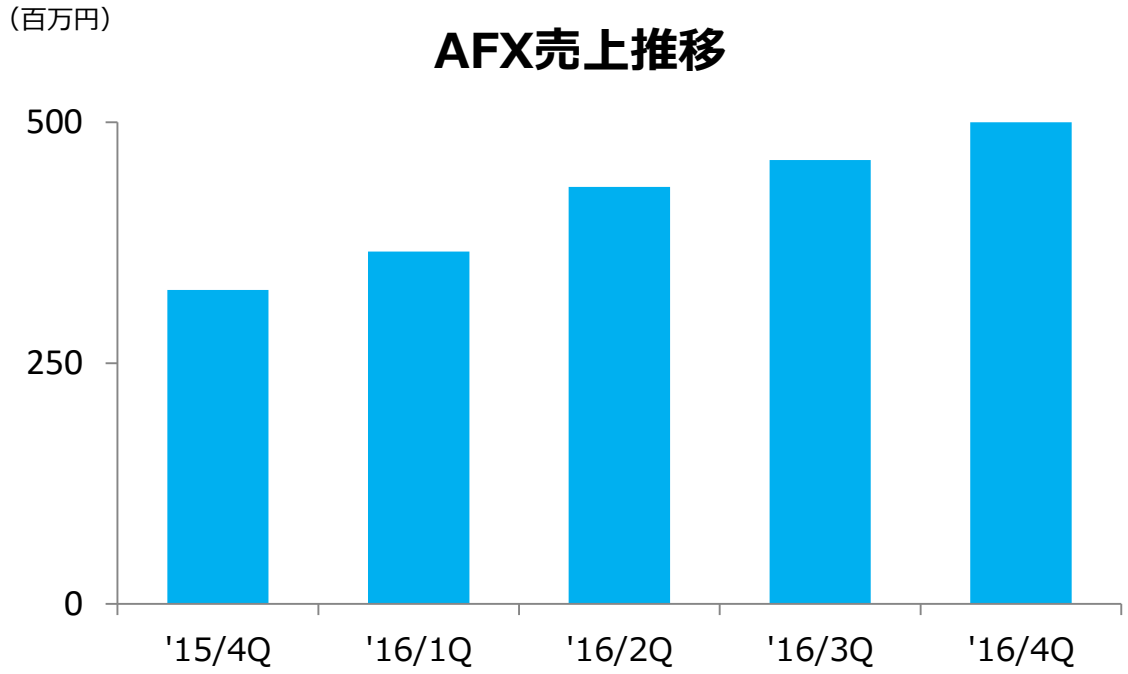
開胸手術		経皮的治療	
自社製品		仕入商品	
人工血管	オープンステントグラフト	胸部用ステントグラフト	腹部用ステントグラフト
J-Graft	J-Graftオープンステントグラフト	RELAY Plus	AFX
JUNKEN MEDICAL社製*	JUNKEN MEDICAL社製*	Bolton Medical社製	Endologix社製
	 2014/7発売 ONLY ONE	 2013/5発売	 2016/1発売

※JUNKEN MEDICAL社は2017/4/1に当社に吸収合併。

外科関連　’17/3 実績

腹部用ステントグラフトが伸長

– 「AFXステントグラフトシステム」
– 導入1年で10%を超える市場シェアを獲得





「AFX」

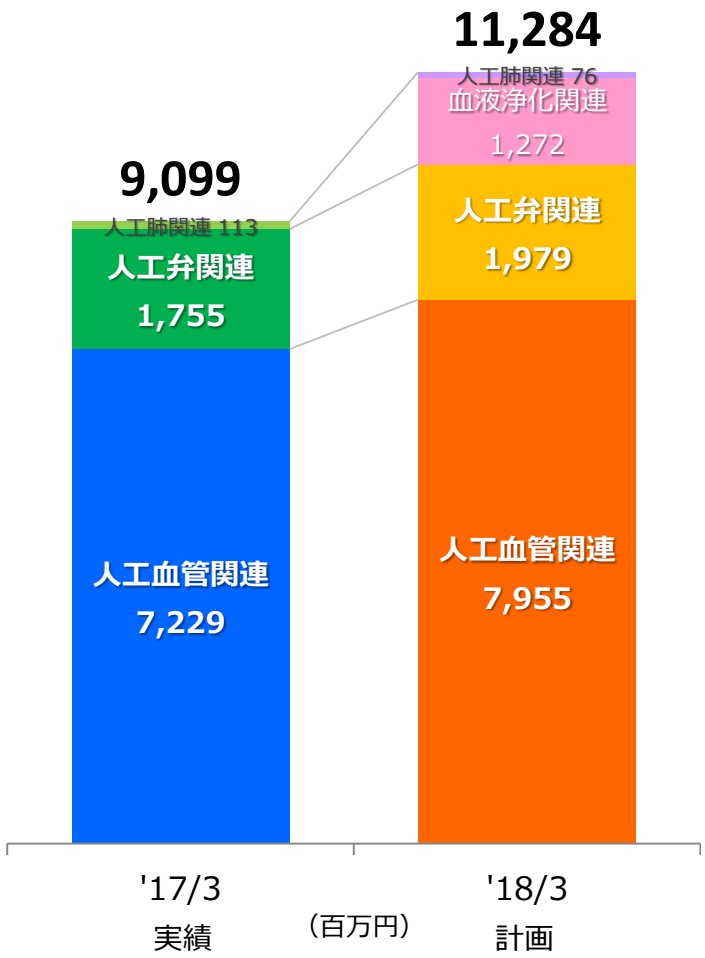
腹部市場を急速に開拓

外科関連　’18/3 見通し

人工血管関連が引き続き伸長　　**前期比 +24.0%**

※血液浄化関連を除く前期比　+10.0%

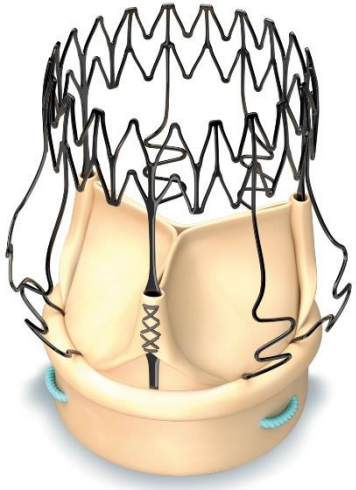
- **腹部用ステントグラフト**
  - 「AFXステントグラフトシステム」さらなる販売数量の増加を見込む
  - オープンステントグラフトも伸長
- **人工弁関連**
  - 「CROWN PRT」が伸長
  - スーチャレス生体弁「PERCEVAL」4Q上市予定



外科関連　’18/3 新商品 PERCEVAL

国内初のスーチャレス生体弁

– 「PERCEVAL」
– Livanova社（英）製品
– 4Q上市予定（新保険償還区分を想定）



スーチャレス生体弁
「PERCEVAL」

特長

- 縫着が不要　手技の効率化・時間短縮化
- 弁リングの無い構造による優れた血行動態
- 複合手術、MICS*（小切開手術）に至適

TAVI*とは異なる独自市場を創出

*MICS：Minimally Invasive Cardiac Surgery 小切開心臓手術

*TAVI：Transcatheter Aortic Valve Implantation 経カテーテル的大動脈弁植え込み術

外科関連　’18/3 見通し

自社製品の海外展開を進める

- 「J-Graft FROZENIX」
- 2QにCEマークを取得し、イタリアで上市予定
- 欧州各国での上市に向け準備を進める



オープンステントグラフト
「J-Graft FROZENIX」

国内で認められた性能を海外へ展開

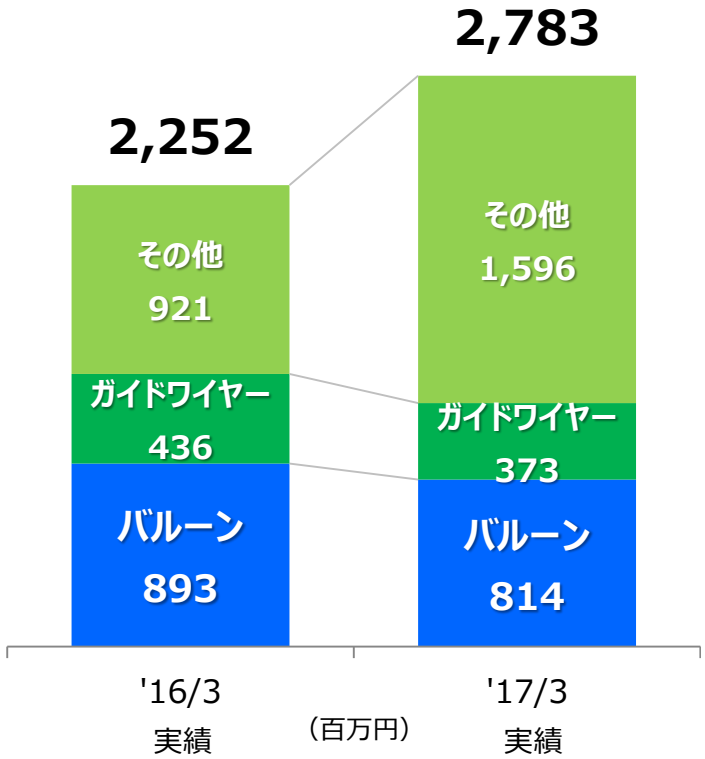
インターベンション　’17/3 実績

貫通用カテーテル等が寄与　　**前期比 +23.6%**

- **バルーン、ガイドワイヤー**
  - 公定価格引下げの影響を受ける
- **貫通用カテーテル**
  - 「GuideLiner」が寄与
- **心房中隔欠損閉鎖器具**
  - 「Figulla Flex Ⅱ」が急速に市場シェアを獲得



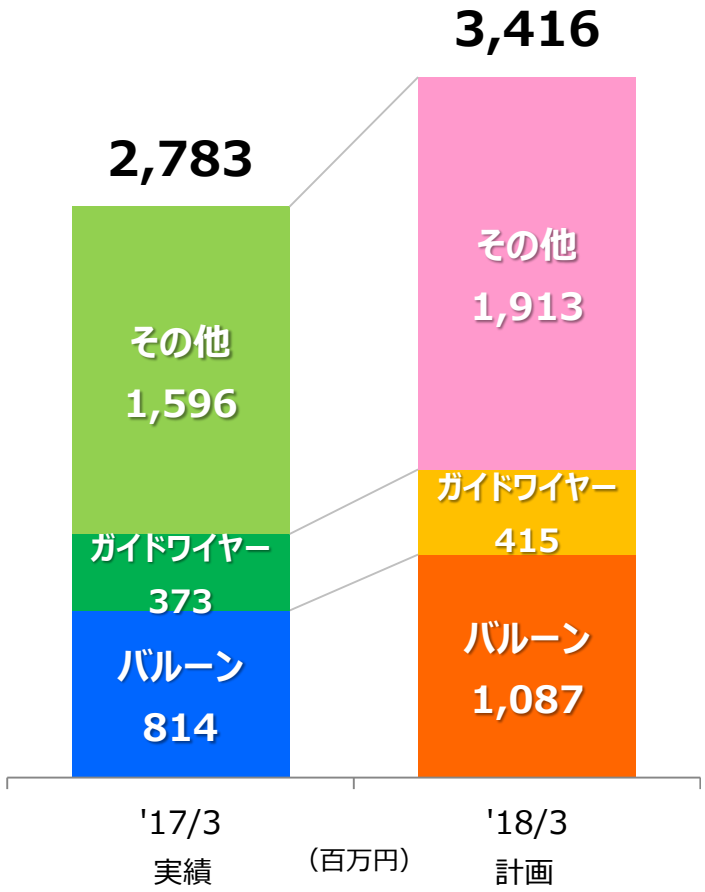
「Figulla Flex Ⅱ」



インターベンション　’18/3 見通し

新製品の寄与を見込む　　**前期比 +22.7%**

- **末梢用バルーンカテーテル**
  - 「MASTULY」を導入
- **貫通用カテーテル**
  - 「GuideLiner」が引き続き増加
- **心房中隔欠損閉鎖器具**
  - 「Figulla Flex Ⅱ」の一層の普及を図る
- **薬剤溶出型ステントを導入**
  - 「Orsiro」4Q上市を目指す



Japan Lifeline

インターベンション ’18/3新商品 MASTULY①

末梢用バルーンカテーテルを導入

– 「MASTULY」
– 対象部位　SFA：浅大腿動脈/BTK：膝下動脈
– 本年1Q末より本格販売を開始

MASTULY
RX PTA Balloon Catheter

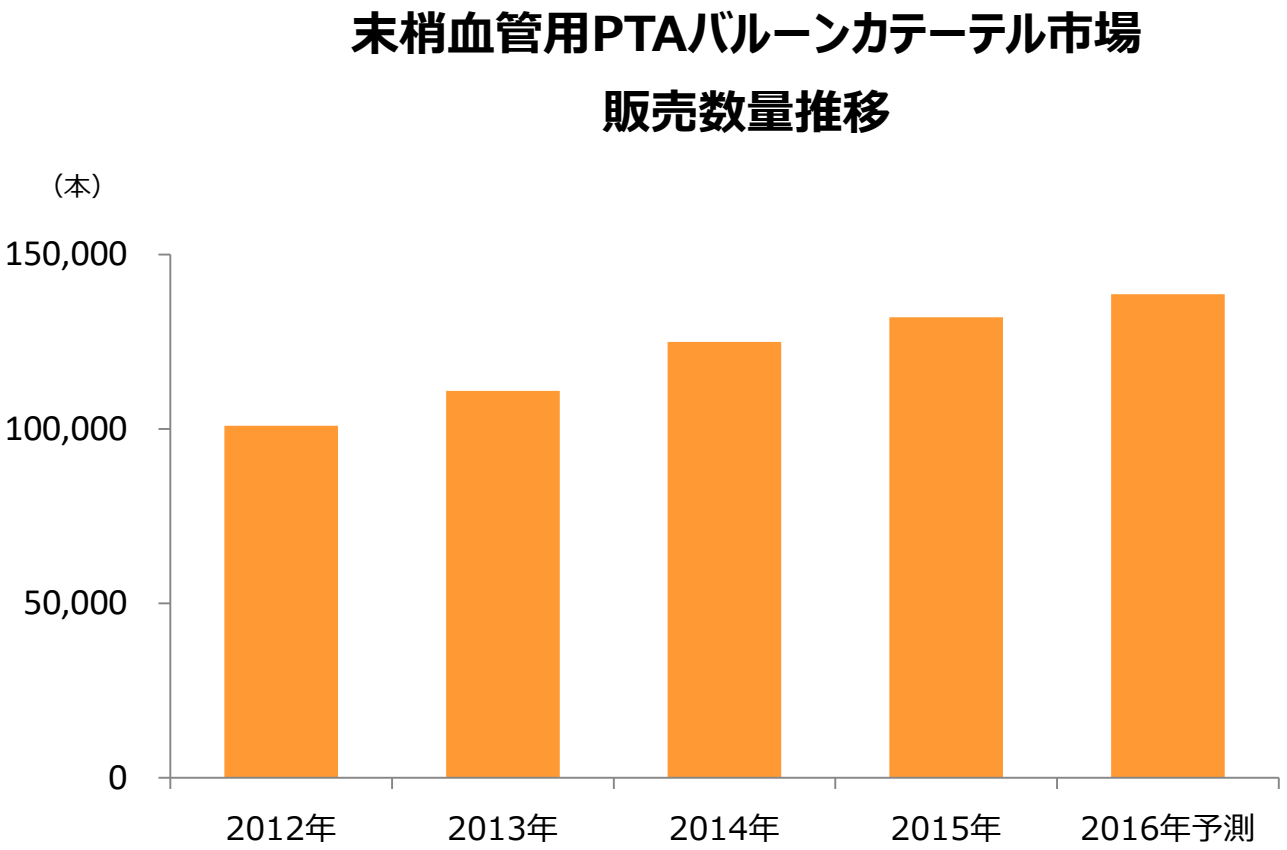
特長

・新素材シャフトを採用
　細径化と高剛性化を両立→病変の通過性向上
・シャフト構造を改良し剛性差が少なく滑らかな操作が可能
・末梢用に最適なガイドワイヤールーメン長

インターベンション領域の自社製品を拡充

インターベンション ’18/3新商品 MASTULY②

拡大する末梢領域へ対応し成長を図る

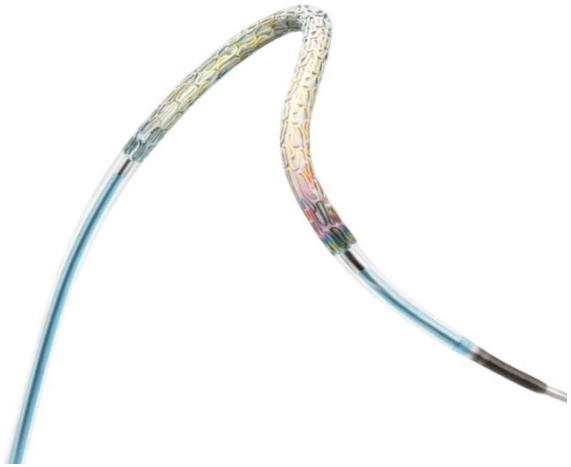


※アールアンドディ社 「医療機器・用品年鑑2016年版」を基に作成

インターベンション ’18/3新商品 DES①

薬剤溶出型ステント（DES）を導入

– 「Orsiro」
– BIOTRONIK社（独）製品
– 4Q販売開始を予定
– ’19/3期 市場シェア10%を目指す



薬剤溶出型ステント
「Orsiro」

特長

・生体吸収性ポリマーを用いた第3世代ステント
・業界最薄のステントによる高いデリバリー性
・ハイブリッドコーティングにより効果的に再狭窄を抑制

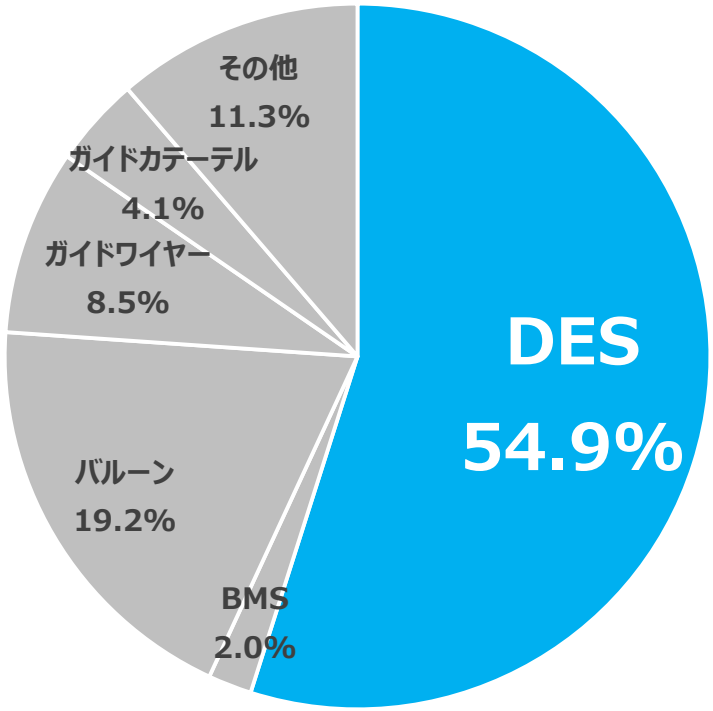
競争力ある製品でDES市場へ参入

インターベンション ’18/3新商品 DES②

DESはPCI治療市場の過半を占める

PCI関連製品の販売金額構成

（国内市場 2016年予想）



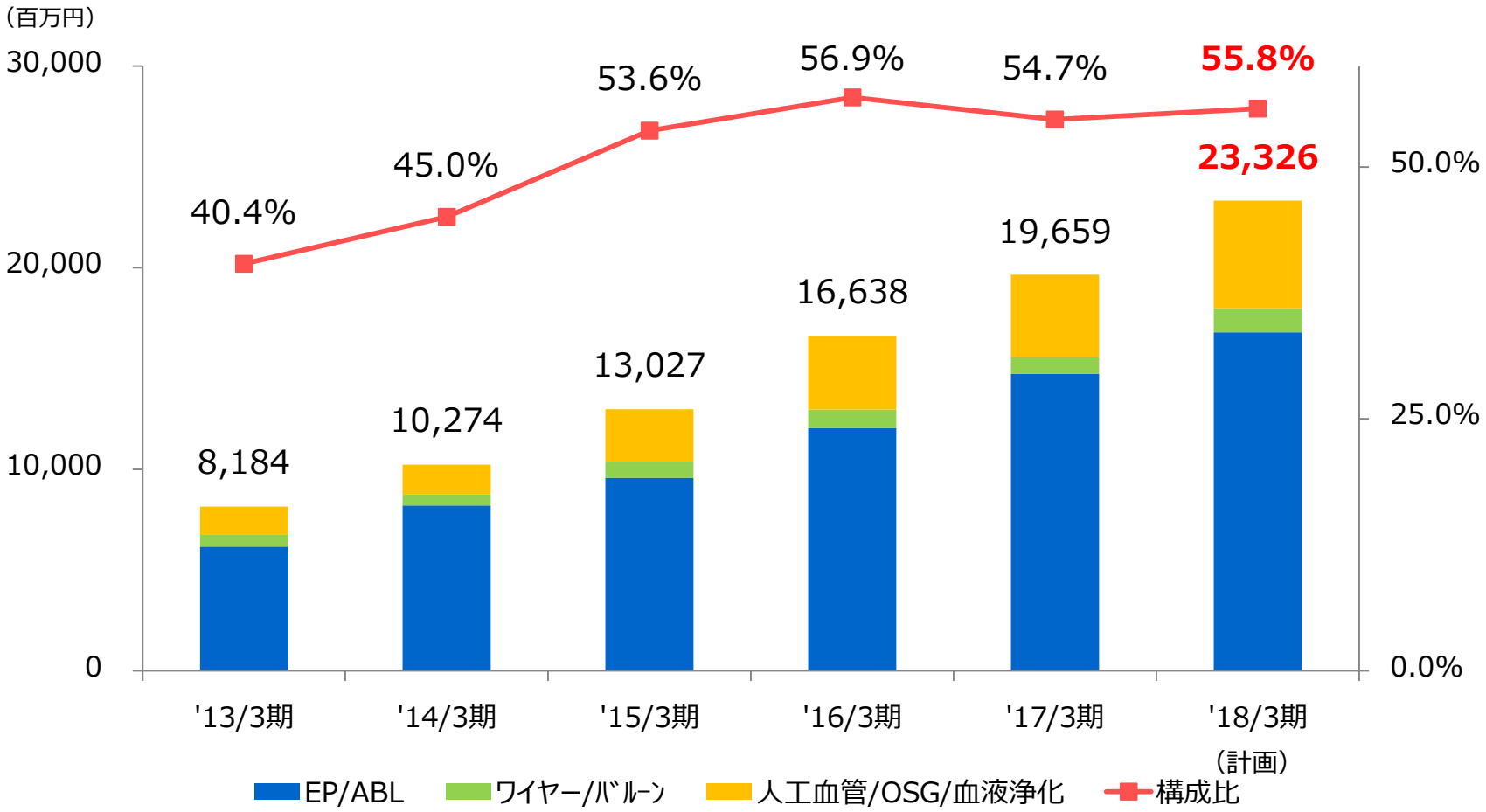
※アールアンドディ社 「医療機器・用品年鑑 2016年版」を基に作成

PCI領域におけるプレゼンスを高める

Japan Lifeline

自社グループ製品売上高

- 自社製品の成長が順調に続く
- 仕入商品の伸長により、自社製品比率は約55%で推移



※自社グループ製品は、単体売上高に占める自社グループ製品の比率。'18/3より血液浄化を含める

Japan Lifeline

4. 中期計画の更新

代表取締役社長

鈴木　啓介

昨年度の計画をローリングにより更新

最新の状況を反映

- 直近の販売動向
- 仕入商品の独占販売契約の締結状況
- 自社製品の開発計画
- 治験および薬事承認の取得スケジュール
- 公定価格の改定は2年毎（毎年改定は織り込まず）

中期計画　目標

＜昨年計画＞

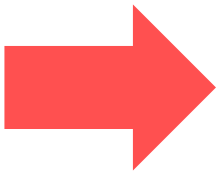
2021年3月期

連結売上高

578億円

営業利益率

18%



＜本年計画＞

2022年3月期

連結売上高

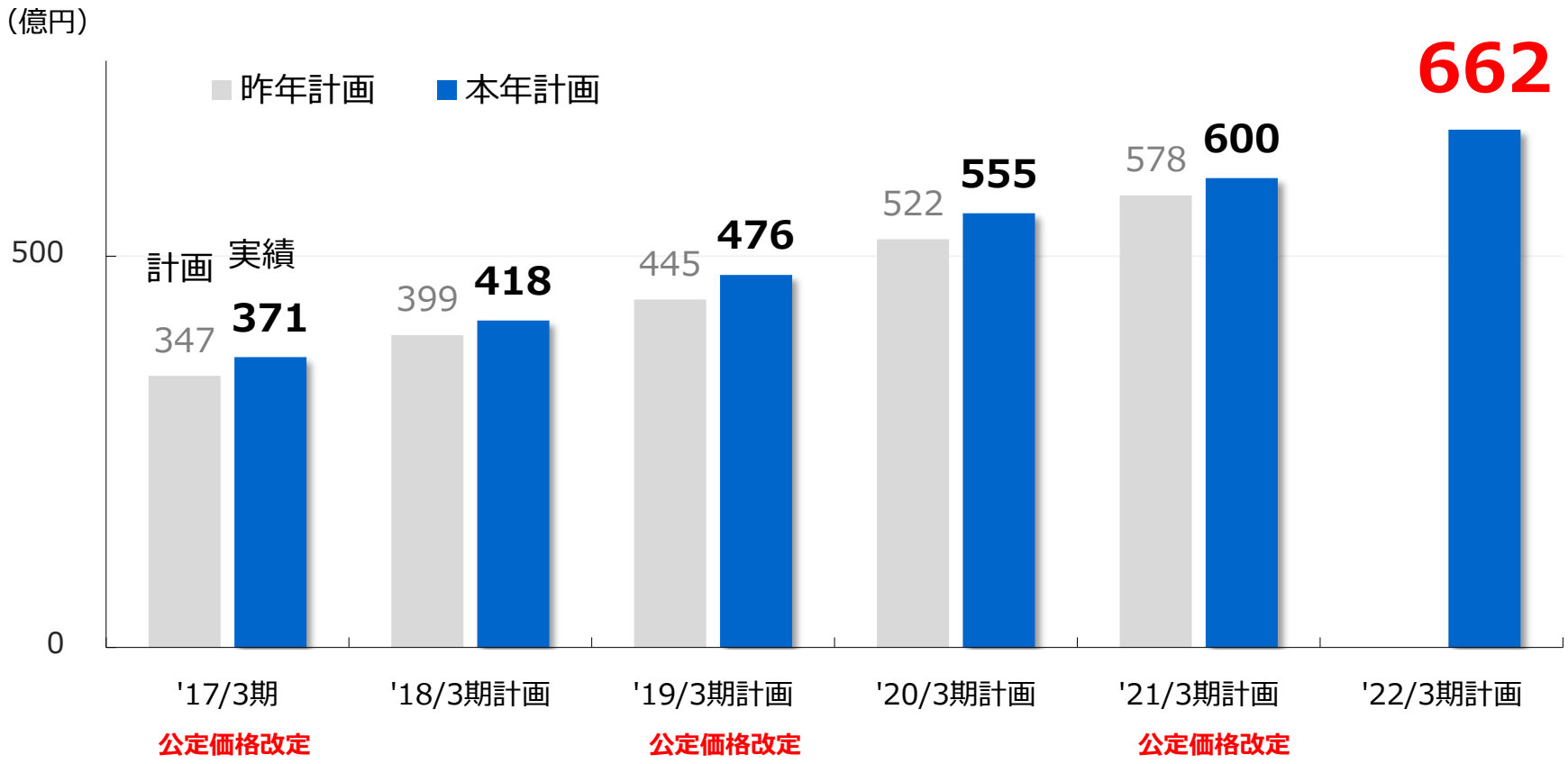
662億円

営業利益率

25%

中期計画　目標

2022年３月期
連結売上高662億円、営業利益率25%を目指す



※計画値には上市時期が特定されていない商品/製品は含まない

Japan Lifeline

中期計画　商品パイプライン（一部）

（億円）

1,000

500

0





「PLATINIUM SonR」「Ovation」

・心腔内エコー
・腹部用ステントグラフト　**OVATION**
・CRTD　**PLATINIUM SonR**

371

418

476

555

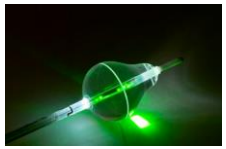
600

662

・未梢用ドラッグコーティングバルーン
・腹部用ステントグラフト　**NELLIX**



「NELLIX」



「Heart Light」

・大腸ステント　**JENTLLY**
・内視鏡アブレーションシステム　**Heart Light**
・スーチャレス生体弁　**PERCEVAL**
・DES　**Orsiro**

'17/3期実績　'18/3期計画　'19/3期計画　'20/3期計画　'21/3期計画　'22/3期計画

上記以外にも複数の商品導入・開発計画が進行中

Japan Lifeline

中期計画　ハイライト

- **心房細動治療の増加**
  - ’17/3期は期初計画を大幅に上振れ
  - 今後もAF関連製品は安定的な増加を見込む

- **自社製品比率は約50%を想定（’22/3期）**
  - 仕入商品も伸長（HeartLight、Orsiro、NELLIX等大型商品）
  - スケールメリットにより、営業利益ベースでの利益改善が進む

中期計画　課題

- **新領域の開拓**
  - 循環器以外の治療領域への進出
  - 自社製品技術の他領域への応用
- **開発生産体制の一層の強化**
  - R&D施設の拡張（戸田）
  - 海外工場の立ち上げ（マレーシア）
- **海外展開**
  - 海外販売の本格化（オープンステントグラフト、EPカテ等）

当社の成長基盤



両機能をともに強化し、一層の成長を目指す



... for Patient Comfort.

Japan Lifeline

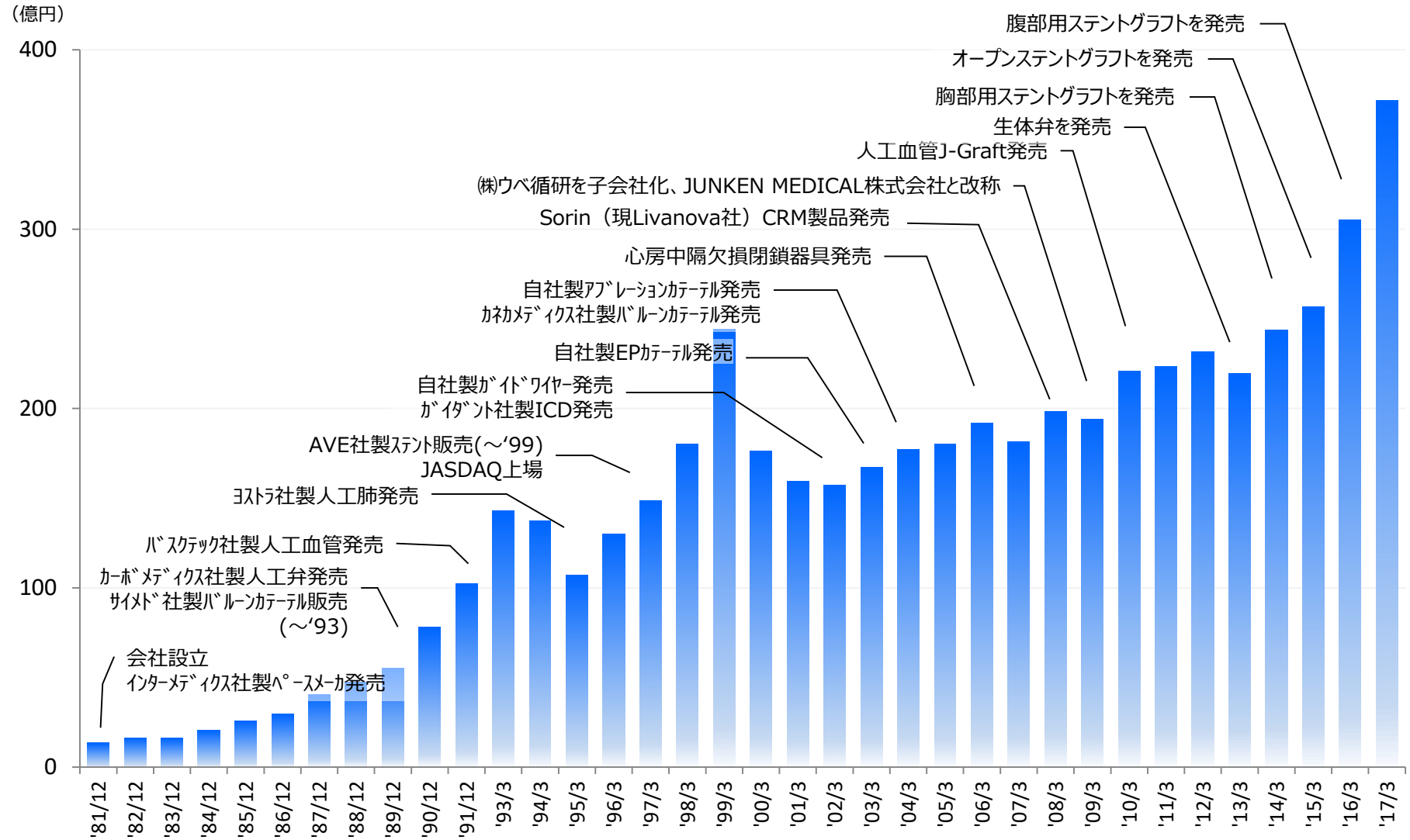
Japan Lifeline

会 社 概 要

会社概要

商号	日本ライフライン株式会社
代表者	代表取締役社長　鈴木啓介
本社	東京都品川区東品川2-2-20　天王洲郵船ビル
設立	1981年2月6日
株式	東証一部
証券コード	7575
事業内容	医療機器の輸入、製造および販売
資本金	2,115百万円
従業員数	連結829名/単体661名（2017年3月末現在）
事業所	営業拠点36ヶ所、羽田ロジスティックスセンター、リサーチセンター、戸田ファクトリー、小山ファクトリー、天王洲ACCADEMIA（研修センター）
連結子会社	JUNKEN MEDICAL株式会社（※'17/4/1吸収合併）、SYNEXMED（HONG KONG）LTD.、心宜医疗器械（深圳）有限公司

当社沿革と売上高推移



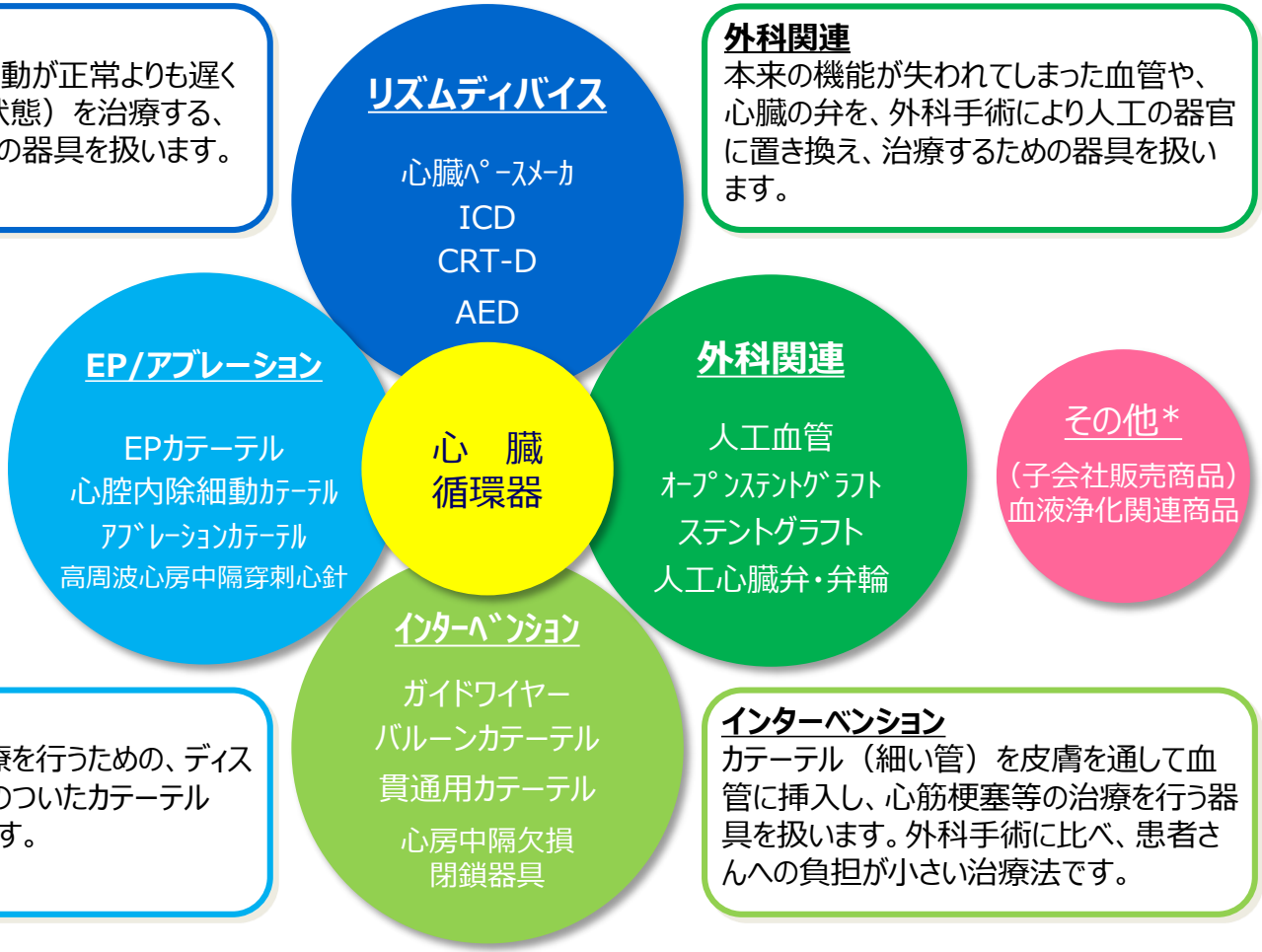
Japan Lifeline

事業領域

当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムディバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンション、その他の５つに大別されます。

リズムディバイス
不整脈（心臓の拍動が正常よりも遅くなるまたは早くなる状態）を治療する、主に体内植込み型の器具を扱います。

外科関連
本来の機能が失われてしまった血管や、心臓の弁を、外科手術により人工の器官に置き換え、治療するための器具を扱います。

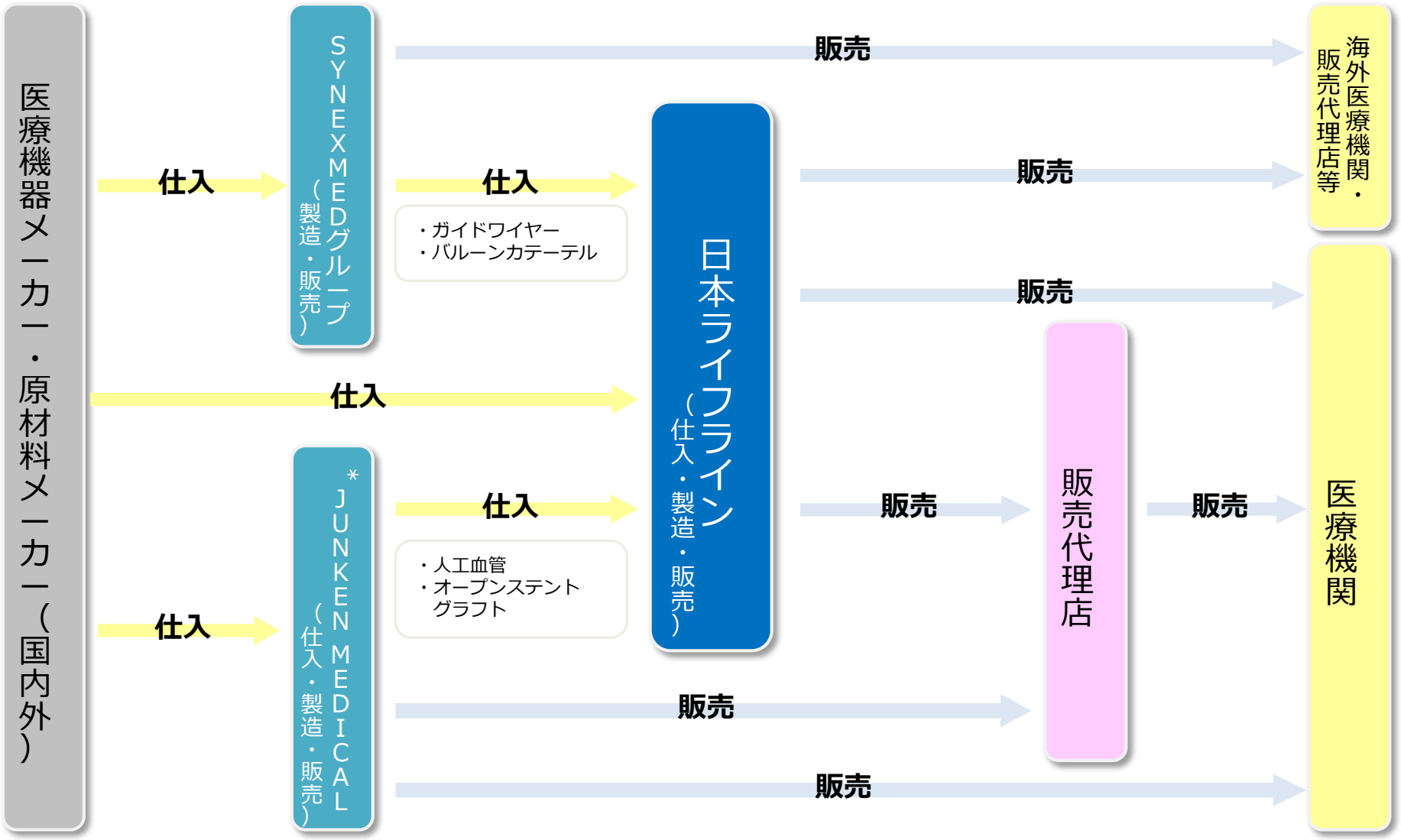


EP/アブレーション
不整脈の検査や治療を行うための、ディスポーザブル式の電極のついたカテーテル（細い管）を扱います。

インターベンション
カテーテル（細い管）を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者さんへの負担が小さい治療法です。

※’17/4/1のJUNKEN MEDICAL社の吸収合併により、’18/4期より品目区分”その他”は外科関連に区分変更しております。

事業の系統図



※JUNKEN MEDICAL社は'17/4/1付で当社に吸収合併しております。

商品紹介　リズムディバイス

心臓ペースメーカ

（LivaNova社製）



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈（徐脈）に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

ICD（植込み型除細動器）

（LivaNova社製）



心臓の拍動が異常に早まる不整脈（頻脈）のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。

CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）

（LivaNova社製）



重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与えることで、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。またICDと同様に除細動の機能も合わせ持っています。

AED（自動体外式除細動器）

（NANOOMTECH社製）

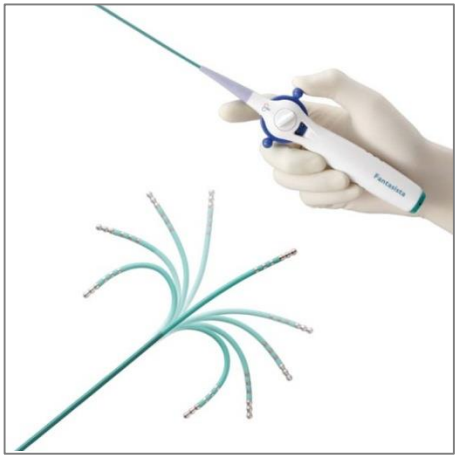


心室細動などにより心臓が突然停止した際に、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。操作が簡単なため、一般の方も使用することができます。

商品紹介　ＥＰ/アブレーション

アブレーションカテーテル

（自社製品）



頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることにより治療します。

EP（電気生理用）カテーテル

（自社製品）



不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。

心腔内除細動カテーテル

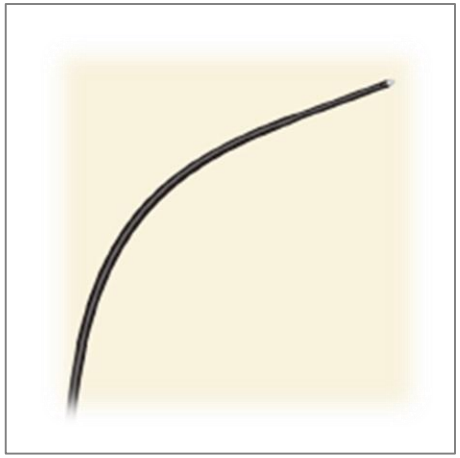
（自社製品）



アブレーション治療の際に発生する心房細動に対し、心腔内で除細動を行うことにより、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせ持っています。

高周波心房中隔穿刺針

（BAYLIS MEDICAL社製）

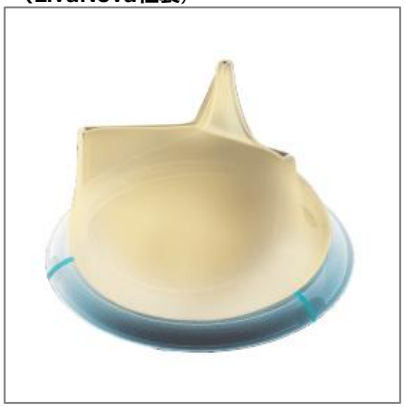


アブレーション治療などの際に、左右の心房の間にある壁（心房中隔）に、カテーテルを通すための穴を高周波により開ける際に使用します。

商品紹介　外科関連

人工心臓弁

（LivaNova社製）



心臓弁が十分に開かない、また完全には閉じないなど、正常な血流を保てなくなった場合に、人工心臓弁に置き換え、本来の機能を回復させます。

心臓弁の疾患に対し、人工心臓弁に置き換えずに、自己の弁を温存し縫合等により治療する際に使用します。

人工弁輪

(LivaNova社製)



人工血管

（JUNKEN MEDICAL社製*）



開胸手術により動脈瘤などで痛んだ血管を切り取り、人工血管に置き換え治療します。

オープンステントグラフト

（JUNKEN MEDICAL社製*）



大動脈に挿入し拡張することにより血管に固定します。片側の吻合が不要なため、開胸手術を行うものの低侵襲に大動脈瘤の治療を行います。

ステントグラフト

（BOLTON MEDICAL社製）



開胸手術を行うことなく、足の付け根の血管からカテーテルを通じて、治療部位に留置し大動脈瘤を治療します。

※JUNKEN MEDICAL社は'17/4/1付で当社に吸収合併しております。

商品紹介　インターベンション

バルーンカテーテル

（自社製品）



心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船（バルーン）を拡張させ、再度血流を確保します。

バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。

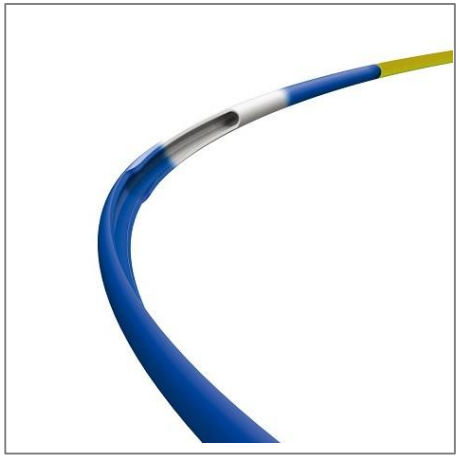
ガイドワイヤー

（自社製品）



貫通用カテーテル

(Vascular Solutions社製)



バルーンカテーテルやステント等を冠動脈の治療部位へ送り届ける際に、ガイディングカテーテルをサポートし、手技をスムーズかつ効率的に行うために用います。

心房中隔欠損閉鎖器具

(Occlutech Holding AG社製)



先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患（心房中隔欠損症）を、外科手術を行うことなくカテーテルを用いて閉鎖栓という円盤状の器具で塞ぎ治療します。

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に関係する、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営戦略部
TEL:　03-6711-5214
E-Mail: ir@jll.co.jp
URL: http://www.jll.co.jp